

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・うなぎ等、仕入値の高騰による値上げにもかかわらず、客の入りが良い。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・学校やクラブ活動が始まり、入学時に一応1組買っていた客が、やはり汚れるからもう1組欲しいというような形で、前年と同様に商品が動いているため、良い。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・月前半は寒さのために桜も遅れ、人出が少なかったが、後半は持ち直している。特にゴールデンウィーク前半の人出は東日本大震災があった前年に比べて倍増している。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・気温の上昇につれて、夏物の販売量が増えている。
		スーパー（統 括）	来客数の動き	・気温は低く推移するが雨天が少なく、天候が安定していたため、来客数、客単価共に伸び、食品、雑貨、衣料共、前年同月比を上回っている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・3か月前比では108%、売上も客数も伸びているが、前年比では売上が101%、客数が102%と微増である。ゴールデンウィークは天気が良さそうなので伸びを期待している。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・月の後半から気温もやや上がって桜の開花もあり、それに伴ってある程度、来客数、売上の増加につながっている。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・景気の低迷はあり、復興というにはほど遠いという意見もあるが、東日本大震災の復興景気や自粛ムードからの脱却からか、このゴールデンウィークの人の動きや、天候には恵まれないものの週末の客単価等、消費に対する緩やかな上昇が感じられる。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・軽自動車の主となり競争相手も多いため、大きな利益にはつながらないが、エコカー補助金の復活に伴って新車の販売台数が増えている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・春の観光シーズンになり、客の動きが良くなってきている。新年度と新学期が始まり、会社や官庁、PTA等の会合が多く、客にも活気が出てきている。
		観光型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・この冬は特に厳しい寒さと大雪に見舞われ、スキー客以外、当地域への旅行は敬遠されていたが、待望の春を迎えて観光地もオープンし、ようやく活気を取り戻してきている。
		旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・契約件数が非常に伸びていないが、来客数は増えてきており、これから間もなく良くなる。
		旅行代理店（所 長）	お客様の様子	・東南アジア、欧米にかかわらず、東日本大震災以降、全く目にする事のなかった外国人客の来訪が目立つようになってきている。観光施設の受入状況も、施設によってはあるが、一昨年を超えた数字を残している所もある。
		旅行代理店（副 支店長）	販売量の動き	・東日本大震災以降停滞していた部分の企業関係の旅行が、少しずつではあるが動きが出つつある。
		旅行代理店（営 業担当）	お客様の様子	・団体旅行の見積依頼件数が増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・花見のシーズンとなり、昨年の自粛ムードから一転して観光客数が増加している。
		通信会社（販売 担当）	販売量の動き	・携帯電話業界ではスマートフォンの販売数が好調なため、前年実績比105%で推移している。価格帯で見ても、高機能な端末を購入していることから、少し景気が良くなってきている。
	通信会社（局 長）	販売量の動き	・後半はやや減速気味に変わりつつあるが、前半は勢いがあり好調で、月間を通した販売数量は、3か月前と比較してやや良くなっている。	
	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・オンシーズンを迎えたことや、東日本大震災から1年が経過したため、上向きになっている。	
	遊園地（職員）	来客数の動き	・1月より低温や週末の雨、雪の影響で客数の伸び悩みが続いていたが、今月は東日本大震災前の水準を上回る来客数となっており、徐々にではあるが回復の兆しが見られる。	
	ゴルフ場（副支 配人）	来客数の動き	・当時は1月中旬からクローズだったが、3月からオープンし、来客数は昨年より若干落ちるが、入場者を迎えてやや良くなっている。	

	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	来客数の動き	・客数が増加の傾向にあり、特に、日中というよりは早朝、深夜の客が増えている。客の仕事自体がある程度あるためか、広範囲に仕事が増えている影響で、そのような客数の変化になっているようである。
	美容室 (経営者)	それ以外	・新年度に入り、融資の相談件数が前年より若干増えている。実行される件数は少ないため、それほどお金は動いていないと思うが、設備投資する美容院の店主など、そのような気持ちが増えてきたということは、少しは良くなっている。
	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・まだまだ忙しいほどではないが、年度初めということもあって新しい仕事の話はある。
	設計事務所 (所長)	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数が多く、打ち合わせが増えているため、やや良くなっている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・3月の新規契約は通常月の1.5倍となり、24年度期首の手持ち工事が増えている。
変わらない	商店街 (代表者)	単価の動き	・単価の安い物だけが動いており、値が張る物はほとんど動かない。
	一般小売店 [精肉] (経営者)	お客様の様子	・花も開き素晴らしい季節になったが、人の動きは慎重である。土日は活気はあるが平日は閑散としており、なかなか財布のひもを緩めない。
	一般小売店 [家電] (経営者)	来客数の動き	・客の購買意欲がなかなか見えてこない。
	一般小売店 [家電] (経営者)	お客様の様子	・消費者の購買意欲は依然として見えてこないが、必要な物を購入する際、安価よりエコな商品等を意識する客が増えてきている。品物の動きは少ないが、単価が上がることで多少明るい兆しも見える。
	百貨店 (販売促進担当)	販売量の動き	・相変わらず節約志向が顕著で、3か月前と比較しても大きな変化は見られない。
	百貨店 (店長)	販売量の動き	・今月は気温の上昇と共に衣料を中心に動きが出たものの、依然として顧客の動きは慎重になっている。
	百貨店 (店長)	販売量の動き	・売上は落ち込まないが、伸びない。
	百貨店 (販売担当)	来客数の動き	・来客数は減ったままだが、単価の上昇により、売上は何とか維持している。
	スーパー (店長)	お客様の様子	・当地では雪解けが非常に遅れ、本来は売れて利益になるはずの春向け商材の動きが遅れているが、代わりに売尽くして値下げとなる商材を通常価格で販売できている。
	スーパー (店長)	単価の動き	・単価が安い物しか売れない。
	スーパー (総務担当)	来客数の動き	・来客数、1人当たりの買上点数、買上単価で見ると、食品、住居関連の日用必需品と考えられる商品の売行きが、前年同時期を割り込んでいる。
	コンビニ (店長)	お客様の様子	・売上は落ちてきたが、ここにきて大分流れが元に戻って安定し、ある程度客数が戻ってきた感じである。流れが変わった程度であり、景気自体はそれほど変わっていない。
	衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・先月くらいから、客の様子が幾分明くなくなってきたように感じている。今月後半くらいから手土産を持ってくる客の数が増えており、精神的なゆとりが出てきたのか、明るい兆しという気がしている。売上自体は単価が上がったりといったことはないが、良い悪いの振れ幅が少なくなってきている。
	家電量販店 (店長)	販売量の動き	・販売の柱となる映像機器が回復していない。エコポイント特需の影響はまだ続いているが、エコポイント商品ではなかった洗濯機で、若干好調な様子が見える。
	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数はさほど変わっていない。
	家電量販店 (営業担当)	単価の動き	・テレビの動きや単価の下落が激しく、利益が出ない状況である。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・エコカー減税の効果で、販売量は堅調に推移している。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・3月は卒業、入学、入社時期でそれなりに成績が良かったが、4月に入って当地域に観光客が来なくなっている。当社はそれなりに売れていたが、また放射性物質が検出されたということで、周囲のホテル関係、物産店、ドライブイン関係に客が全く来ない状況であり、少し困っている。
	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・円高が安定しているが消費還元がない。ガソリン単価が高騰し、エコカー減税対象車が少なく、販売量は減少している。

自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・車業界はエコカー補助金により販売量が多少増えてはいるが、一時的な効果であり、その分を差し引いた場合、例年よりはあまり良くないため、どちらとも言えない状態である。今後もやはり何かと不安な材料があるため、客の財布のひもはまだ厳しい。	
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・週末の天候不順のため、外回り商材の動向が悪い。	
住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・前年は東日本大震災後の特需があった月であり、前年比で見る傾向の良し悪しが判断しにくい。防災関連品は継続して好調に推移し、前年不調であった園芸関連も前年と比べれば伸長している。ただし、消耗品の単価下落傾向は変わらず、全体としてはやや悪い傾向が続いている。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・飲食業の場合、量よりも客数のほうに景気が顕著に表れる。	
スナック（経営者）	来客数の動き	・半年ほど、ずっと同じように悪い。横ばいというより、これ以上落ちようがない。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・暖かくなって客の動きが出てきている。昨年も5月を中心に顧客の動きは良かったが、今年も同様に動いている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年4月は東日本大震災後で非常に自粛ムードが漂っており、予約等のキャンセルが非常に多いこともあって大変だった。今年の場合、ちょうど花見や歓送迎会の時期などが積み重なり、前年よりは多少良かったが、前々年に比べるとやや落ちている。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前の駆け込み需要が、思っていたほど出てきていない。	
通信会社（経営者）	販売量の動き	・行政関連の年度末までの納品が済んだタイミングで、大手地方営業所や建設関係から広報やWeb系の見積発注が動き出している。	
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・予約は順調に推移しているものの、周辺コースとのプレー料金の対比を非常に言うようになっている。また、会員券の販売は、ほとんどゼロに等しい状態になっている。	
ゴルフ場（業務担当）	単価の動き	・単価の動きの中で、土日の雨の影響もあったせいか、売上が伸びていない。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共にそれほど変化が見られない。	
その他サービス〔清掃〕（所長）	それ以外	・周辺の手ドラッグストアなどで、新聞の折込を見て特売品を中心に買物をしている状況には変化が見られない。	
その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	それ以外	・東日本大震災から1年がたち、子どもの習い事でスイミング、体操などの需要は前年と比べて非常に多くなってきているが、成人の伸びがほぼないため、相殺されている。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・昨年からは引き続き、客からの照会や相談、問い合わせなどがほとんど無い状態が続いている。たまたま相談があり業務に結び付いたとしても、それは一過性のもので景気が良くなったの動きではない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は前年比78%、客単価は120%で、何とか前年比100%で推移することができている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・2年ぶりの春祭りの人出はまずまずだったが売上は伸びず、その後はまた落ち込み、春の商戦は盛り上がっていない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・本当に客数がかかり減っており、客単価も大変落ちている。本当に必要ではない物はいらぬ、安くても必要がなければいらぬと、かなりの買い控えが当店の客から感じられる。
	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・今月は食品の売上が全体で悪い。当店だけではなく兄弟店でも食品ギフト、日用品、日用食品、セルフ、食堂等、全体的に数字が各分野とも87~90%と、前年比で10%近く下がっている。客数の減少も伴い、身の回りの商品の動きも悪い。一部、婦人の旅行関係の服だけが良く105%で、辛うじてつながっている。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・人口減にもかかわらず、競合店の出店意欲は旺盛である。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で見ると好調だが、前月比で見ると落ち込んでいる。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今月は春物商材の実売期だったにもかかわらず寒い日が多く、買上客数が前年と比べても約9%減少している。

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・最需要期の3月が過ぎたため、販売量が減っている。	
	乗用車販売店 (統括)	来客数の動き	・新車販売においてエコカー補助金や減税が続いているにもかかわらず、4月になってからやや来客数や受注数に陰りが見えてきている。	
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・福島第一原子力発電所の事故による風評被害が依然続いており、海外からの観光客、ビジネス客及び東京からの行楽客の予約がほとんど無くなっている。	
	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・客の動向としては、新しい組織などでビジネスホテルの利用も多く、多少良くなっている傾向もあるが、通常年に比べればそこまで稼働は上がっていない。販売量の動きから判断すると本来の動きではないため、やや悪くなっている。	
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体の動きは悪い。特に昼間の動きが悪く、前年同月比13%減である。	
	通信会社(営業担当)	来客数の動き	・引越しや入学など新生活に伴う購入などが落ち着き、消費が停滞傾向にある。	
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・近隣に競争相手が2社開業し、オープン価格を設定したため、そちらに客が流れている。そのため当社も影響を多少受け、総売上で約2%、来客数としては8%ほど減っている。購買についても回数券、サービス券の購入等について買い控えが起き、また、使用枚数もきちんと管理しているようで、例年の販売に比べると約5~6%の間で減っているため、やや悪くなっている。	
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・少し持ち直すかとも思ったが、本気で何の情報も入っていない。	
	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・仕入の案件が希少となっているため、少し高めの原因で購入しているが、その高めが顧客に転嫁できず苦戦している。全体的に地価が横ばい又は下落傾向のため、売の方が弱い状態が継続している。	
悪くなっている	一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・新学期も終わり、かなりいろいろな面で販売量の動きが悪くなっている。	
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・買い回り商品には先が見えない。	
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・4月後半はゴールデンウィークを前に外食を控える傾向が毎年あるが、今年は特にひどい状況で、集客、売上共に通常の約半分にまで落ち込んでいる。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数の動きと同時に、客や競争相手の様子などいろいろある。本当にこの調査を始めて以来、良くなるということは一度も無かったような気がする。	
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・不動産の引き合いが本当に、かなり少なく感じる。特に競売物件などには皆興味を持っているようで参加者も多いが、一般の売買になるとほとんど引き合いもなく、問い合わせもない。また、事務所等についてもほとんど空き状態が続いている。	
企業動向関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き ・スプレー缶、ガス缶、ライターは不燃物処理の分類から可燃性危険物として認識されるようになり、これらの処理装置が環境装置として納入契約につながってきているため、良くなっている。	
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・以前に比べて、わずかながら受注量の動きが良くなってきている。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・周りも仕事量が徐々に増加している様子なので、良くなっている。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・産業機械のコンプレッサーは例年3月は期末でもあって在庫が多めになるが、売行きが好調なため、在庫が少ない。そのため4月も順調な生産台数である。国内向けでは節電効果のあるインバーター制御のコンプレッサーが大変売行きが良い。輸出では東南アジア向けの大型コンプレッサーが順調である。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・当社は電動工具の部品を製作しているため、東日本大震災後の復興需要で多くなっている。
		輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・主力自動車メーカーからの受注量については、非常に高水準を維持している。前年は東日本大震災もあったが、過去最高の受注量になっているため、コストの面では非常に厳しくなっているが、3か月前と比べても非常に好調な状況になってきている。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。

変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度になり、全体的に仕事量は増えてはきているが、原材料等がどんどん上がってきており、利益には少しも貢献していない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特注品受注の動きは相変わらず少ないものの、一般店頭商品受注は幾らか動きが出ている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料が10%ほど値上がりしつつある。製品に転嫁できないため、その分大変な状況が発生している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、客先からの受注は前月同様の推移である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多種、少量だが、何とか仕事を確保している。安定した量産は少なくなっている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・1～3月はやや良かったが、4月は3月決算が終わって若干落ちている。今後は取引先、受注量、販売量等も6月ごろから回復する。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前年は東日本大震災の影響で4月から6月に延期になった展示会が開催された。来客数、売上共に延期して行った前年よりは増えたが、前々年よりは減少している。前年比では売上、利益共に大幅に回復したが、前々年比ではまだ5%ほど下がっている。今後も数か月は前年比を上回るが、それが本格的な回復への道筋かどうかは判断できない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年も電力不足等で原子力発電所の稼働はしないということから、省エネ家電等が見直され、扇風機等の荷動きが多くなっている。通常であれば、関東以外の遠方、九州、関西、東北等は協力会社等の上り車を利用して帰りの車の対応をしているが、現状は車両が少なく、自車を使って対応している。コスト高にもつながっており、厳しい状況である。
	金融業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年秋の円高の影響によって発注元が海外に生産拠点を移したことにより、受注量、受注価格に影響が出ている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では電子部品デバイスなど在庫調整の影響が継続しており、全体を下押ししているものの、一般機械や自動車部品など、海外需要を取り込んでいる業種では底堅く推移している。また、円高の一服もやや安心感につながっており、マインド面の改善につながっている。非製造業では大雪の影響で観光客が減少したほか、小売では天候不順から春物衣料に出遅れ感が続いている。
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年同時期と比較するのは難しいが、広告宣伝の出稿状況は前々年と同じくらいで推移している。実質的に、前年のマイナスをばん回しきれていない状況である。	
新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・自動車関連では3月に続き今月も好調で、納車に日数がかかっている車種もあると聞いている。チラシ出稿量は110%となっているが、前月同様、前々年比では98%と戻り切っていない。	
社会保険労務士	取引先の様子	・被災地向けの新しい助成金の話で経営者は盛り上がっているが、使える事業所は限られているため、あまり変わらない。	
やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の在庫積み増し対応の増産が3月末で一服し、受注量は少なくなってきたおり、建設機械、油圧機器向けの仕事量も戻ってこない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同月比で2割、前2か月と比べても約2、3割、受注量が落ちてしまっている。新年度に変わって伸びてくるかという期待はあったがまだ停滞しており、受注が増える、横ばいという状況になっていない。原因が分からないため、非常に頭を抱えている。
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・取引先である建築教育の業務が縮小しているようである。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・住宅関連、建材、金属製品や化成品等の製造業などで売上が頭打ち又は減少している。一方、管工事、運送業などやや繁忙のものもあるが、全体的に景気は弱い。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・やや落ち込んでおり、前月並みくらいである。
悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・全県で見られる傾向だが、景気感の悪さと先行きの不安、また例年のない寒さが原因で、特に売行きが良くない。

	建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、受注高は前年比1.5%増で確保できたものの、当初工期5か月が東日本大震災他の影響で1年延びて17か月かかり、現場管理費他の経費が生じたため、赤字計上となってしまった。また、受注額に関しては相変わらず最低価格での受注のため、約15%引きと各社とも厳しい状況が続いている。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・新年度になり、今まで行なっていたメンテナンスの費用を一律で下げるようにオーナーから要請されている。受注価格は下がったが、業務の内容としてはほとんど削ることができないため、収益がその分悪化している。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今まで小さい仕事しかなかったため売上もあまり伸びなかったが、3月から大きい仕事ができるようになり、売上も大きく伸び、良くなっている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月に入って電機、自動車や携帯関係の電子で少し動きが出てきているようである。電子関連では他にデジカメ部品、家電といったところが目立っているようである。求人内容では、その他建設関連のいわゆる営業職的なものも含まれているが、全般に小売、サービス業の募集が目立っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内3月の新規求人数は前年同月比19.7%増加し、ここ2～3か月は10～20%の増加が続いている。相変わらず有効期限切れを更新する求人が目立つものの、建設業、卸売業、小売業等では新たな募集のための求人申込み動きを見せてきており、採用意欲が一部で上がってきている感触がある。	
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・円安傾向で、輸出産業は想定より利益が出ている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業では、大手企業の4月の新入社員雇用人数は前年より増えているが、中小企業は逆に少ない。中途採用の正社員は介護、医療、サービス業などで少し多くなっているが、全体の求人企業は少ない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者は前年より増加しているが、自己都合による退職者、退職予定者の登録が多く、前年より会社都合による退職者の割合は減少している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・基幹をなす製造業の求人が増加していない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者の滞留は変わらず、新規求人数も若干増えてきた程度である。	
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・平成25年度の当地域における高校生の求人数が3割減という内容が新聞に掲載され、例年以上に厳しい状況が予想される。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・自動車関連の派遣採用が減少しているため、やや悪くなっている。	
悪くなっている	-	-	-	